



## 令和7年度 東江保育園 自己評価 まとめ

### 一年の振り返り

- 0歳児クラスを担当し子ども達に癒されながらひとり一人の発達に寄り添い成長を促す保育を行う事ができた。日々の関わりの中で個々の発達段階を意識しながら援助していくことの大切さ、また、家庭と連携していくことの難しさを改めて感じた。今後はより丁寧なコミュニケーションを心がけて新たに関わる保護者との信頼関係を深めていきたい。
- 書類などをやる時間が作れず期限内に提出できないことも多かった。書類作りをする時間も作れたらと感じる。次年度は効率的に行いたい。
- 9月という中途半端な時期に入職したが、すぐに懐いてくれる子や慣れるのに1か月ほどかかった子もいた。つい、手助けしてしまうけど、危ない場面にならない限り、見守る事もその子の成長につながることを学んだ。一人ひとりの出来ることが増えていくのを一緒に喜べる幸せを感じた半年だった。
- 人員不足で職員の負担が多いことへの申し訳なさを感じてしまい、先に手伝ったり声掛けを行う事が多かった。負担を軽減したくてやっていたが、逆に考えたり工夫する力を発揮できず、職員の資質向上を妨げていたようにも感じた。また、周りのクラス運営を助けたりクラスに入ることが多く、主任の仕事を後回しにして自分の負担が増えてこのままでは体が持たないと感じた。もっと自分を大切にし、周りにも甘えて頼っていくことで力を発揮してもらえよう色々試したい。
- 振り返って先生の人数が足りなくて3クラスに入ったのですが、たいへん疲れました。先生の人数確保をお願いしたいです。
- 1期はとても慌ただしく過ぎ、思うようにクラス運営ができなかった。2期に入り落ち着いたので、夏の遊びや行事への取り組みがスムーズにできたと思う。運動会おゆうぎ会など担任同士で話し合いをして役割分担もできていたと思う。
- クラス運営に集中しすぎて、行事の時など全体的に見ることができなかったので自分のなかでの気づきをもっと発信したらよかったなと感じた。

- 一人ひとりの発達に応じての食事、着脱、排泄などの介助や援助によって成長が見られたことは良かったが、遊びに関しては保育者がもっと丁寧に関わることで営業や友達と遊ぶことの楽しさを十分経験させることができなかった。
- 園外保育では予定をたてたくても人手不足などで行く回数が少なかった。
- 専門書などを参考に保育に取り入れたいと思っていたが実行することができず、次年度に活かしたい。
- 一年を通して子ども一人ひとりの成長に寄り添いながら関わるようにし、日々の保育の中で小さな変化や気持ちに気づけるよう意識して保育することができた。個人差が大きく関り方に悩むこともあったが、子どもの表情や行動を見ながら個別に対応できるよう努めた。保護者とも日々コミュニケーションをとるようにし、信頼関係を築けるようにした。
- 子ども達とのかかわり方（声かけなど）悩むこともあったが、同じクラス担任同士で色々な事を話し、共有しあうことができたので良かった。
- クラス運営でやりたかったことが計画通りにできなかったので反省する点などたくさんあった。
- 当初は不安や戸惑いで涙を流す子もいたが日々の関わりの中で信頼関係が深まり笑顔で過ごす姿が増えていった。特に発達が気になる子が少しずつできることを増やし表情や行動に自信が見られるようになった姿に成長を感じ大きな喜びとなった。この一年を通して一人ひとりの思いや発達を理解しながら関わることの重要性を改めて感じました。今後も子どもの気持ちに寄り添い安心できる環境づくりを大切にしたい。
- 2歳児24名を4人の保育士でスタート。担任は3名という状況で不安も多少あったが3名でのチームワーク、子ども達を0,1歳児クラスで保育していたことが助けになり子ども達と楽しく過ごすことができた。
- 運動会、おゆうぎ会は3人で話し合い計画的に進めることができ良かった。
- 後半は4歳児クラスと両方の保育となり2クラスの子ども一人ひとりの事をもっと理解する必要があったと反省。

## 園の評価・課題

- 現在保護者からの徴収金の管理や業者への支払いを担当や係が行っていますが、保育室内で金銭を保管している状況は保護者の出入りもあるため紛失や盗難のリスクがあります。また、保護者の支払いが遅れた場合に業者への支払いができず困る事や、両替支払い業務が保育士の負担となっていることが課題と感じています。安全面および業務負担軽減のため徴収金および業者への支払いは事務所で一括管理としていただくことをご検討いただきたいと思います。
- 徴収金をクラスで預かっているのは不安があるので是非とも事務所の金庫等に保管してほしい。
- 職員のチームワークで大きな行事も成功することができてよかった。職員間の助け合いもあり良かったと思うがもう少し休みがほしいと感じる。
- 夕方の帰りの時間、園庭にいる職員が少ないことがあり、保護者対応やトイレの対応などで人手が足りないと感じることがあった。
- 忙しい日々の中で情報の共有が十分でないことが時々あるように感じたので、日々のちょっとした声掛けや確認を大切にして職員の連携がスムーズにできるといいと感じた。
- 行事の担当でなくても出来ることは協力しあう事で安心して取り組めたと思う。
- 園庭遊び用の玩具が少ないことで砂遊びなどができず廃品を利用することも多かった。
- 一人担任の場合、メンタル面、肉体的負担軽減が微力ながら辛さを共感することしかできなかったので園全体としての検討をお願いしたい。
- スタートから担任が足りない状態だったのでクラス運営がしづらく戸惑った。若い保育士が増える中この状況はあまり良くないのでは？と思う。保育士の確保も難しいがその人数で対応できるようにしていかないと余計に保育士離れが進みそうで不安になる。
- 周りをよく見て安全面を保ち無理しないよう頑張る。
- アプリを導入したことで保護者との連絡がスムーズになり、おたより帳きにゆうなど毎日の業務の負担が軽減され、更に働きやすくなった。

- 職員全員が昼休憩を取れるように、どうしたらよいのか考えたり協力することが課題だ  
と思う。
- 皆で協力をして一年間大げななどもなく過ごすことができたが、職員が足りない状況で  
保育することに不安を感じる。
- 夕方、クラスの子の引き渡しをしている間、ほかの子を見てもらっていたが怪我をする  
場面があったので、夕方の時間帯だけでもパートの先生が増えると安心して保育ができ  
ると思う。
- 人員不足が今年の課題だった。また、あちこちの園の条件の良い所を見聞きしてうらや  
ましがるが、保育の向上についての話題はほとんど耳にしなかったので、次年度は目の  
前の保育に一人ひとりが向き合えるよう保育の楽しさを共感していけるよう、運営を見  
直し働きかけていきたい。力不足を感じ気落ちするが、良い人材がたくさんいるのでそ  
の力を借りて皆で楽しく保育していきたい。
- パピーナアプリの導入により（保育士のスマホでも確認できるようになり）業務の効率  
化等、時代に沿った対策。良い方向に向かっていると思う。
- 行事や日頃の保育の中でも職員間で協力し合い行う事ができた。